「統合を要する主要体肺動脈側副血行(major aorto-pulmonary collateral artery; MAPCA)

を伴う肺動脈閉鎖/心室中隔欠損(Pulmonary Atresia with Ventricular Septal Defect; PA/VSD)

および半総動脈幹症(Hemi-Truncus)の段階的治療について」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター 臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007年04月01日から2024年12月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターで主要体肺動脈側副血行の統合手術をした、肺動脈閉鎖/心室中隔欠損および半総動脈幹症の患者さんを対象とします。

2. 研究の目的

術後の生命予後、在宅移行率を明らかにすることです。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より1ヶ月後程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

性別、先天性心疾患の病名、その他の合併症、手術法、手術を行った年齢、手術時の体重、(複数回の手術歴がある場合は全てについて確認) カテーテル検査・治療の結果、心室中隔欠損閉鎖の達成度、右室/左室収縮期圧比 術後の生存期間、(死亡している場合は)死因

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である湯浅 絵理佳が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患

者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

肺動脈閉鎖/心室中隔欠損症、半総動脈幹症と診断された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科 湯浅 絵理佳（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター小児心臓科（帆足 孝也）

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：

統合を要する主要体肺動脈側副血行(major aorto-pulmonary collateral artery; MAPCA)

を伴う肺動脈閉鎖/心室中隔欠損(Pulmonary Atresia with Ventricular Septal Defect; PA/VSD)

および半総動脈幹症（Hemi-Truncus）の段階的治療について

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター小児心臓科 湯浅絵理佳